

朝日新聞社の報道について

2021年11月29日
株式会社オーロラ
グッドリゾート株式会社

2021年11月26日付朝日新聞社の弊社グループのホテル運営会社に関する報道は、事実とかけ離れた内容です。つきましては、以下の通り真実を述べさせていただきます。

2020年6月、新型コロナ第一波により休業していたウィンダムグランド淡島の営業を再開するに当たり、新たな運営会社を設立し、その会社で従業員（ほとんどが元々(株)AWHの従業員）を雇用、独立採算を目指しコンサルティング会社とも契約しました。

そして、当初はコロナ自粛の反動やGOTOトラベルのおかげで少し赤字位の収支に収まっていた。

しかしながら残念なことに、GOTOトラベルが終了した途端、運営会社の収支は再び大赤字に転換し、その後は浮上する事はありませんでした。

このため2021年上半期においては、弊社としても事業継続のために身を削る思いで捻出した赤字補填額は、軽く5000万円を超えてしまいました。

その間も弊社は、イベント開催による後方支援をするなど財政支援だけでなく採り得る方策は全て試みましたが、さすがに限界に達し、同年6月以降は、総支配人と経理部長に全面的に任せて売上目標を通達するようになりました。

しかし、現場サイドも現場サイドなりに努力したのかもしれませんが、従前からの脱却を目指し、苦境を切り抜けようとする真摯な意欲は見え、一度も目標に到達する事はありませんでした。そのような状況であったにもかかわらず、現場サイドは赤字を補填して貰っても、弊社に対して感謝の気持ちすら示しませんでした。

赤字補填の資金は、グループの他の会社の従業員が頑張って稼いできたお金であり、本来稼いだ会社の従業員に還元すべきであるのに、そういう構造すら理解出来ていなかったからでしょう。

2021年9月上旬、ついに弊社は総支配人と経理部長に対し、これ以上の赤字補填はしない、売上は全て渡すので独立採算で運営通告しました。

とは言え、その後も現場の求めに応じて約1000万円の資金を投じ、毎月600万円に及ぶ重要な経費の支払いを本年10月まで行いました。

そんな折、現場の心ある一部従業員より、「総支配人と経理部長が外部の第三者と組んで、新会社を設立、従業員を引き抜き、食材等の物品を横領してホテル運営を行おうとしてい

る」との情報がもたらされました。衝撃的な情報ではありましたが、その発言を根拠づける明確な証拠も添えられていました。

当該事実が発覚したために、運営会社社長は、直ちに総支配人、経理部長を含む3人を会社に対する背任、物品などに対する横領などを理由に懲戒解雇しました。

また、ウィンダムグランド淡島の営業終了に伴い、前記引き抜き対象となっていた従業員も、総支配人、経理部長などの背信行為を理解していながら賛同していたとしか考えられなかったため解雇しました。

従って、報道における「自主退職」は懲戒解雇又は解雇です。会社を去ったという事実には変わりありませんが、その理由は全く異なります。また、業者支払や給与の未払いについて、弊社及び(株)オーロラは前記立場（後方支援）であった為、当然ながら把握しておりません。先に述べましたとおり、2021年6月以降は、運営会社の独立採算制をとっていたからです。仮に業者への不払い、給与の未払いなどが事実だとすれば、これらを発生させたのは、当時実質的に運営会社を差配していた元総支配人・経理部長である事は間違いありません。

つまり彼らは、自らが引き起こした問題の責任を弊社に転嫁し、間違った情報を報道機関にリークして弊社の信用をおとしめ、何食わぬ顔で再度ホテル運営を行おうとしていることに他ならないのです。

以上が朝日新聞社が報道した出来事の内実であり、大手新聞社が弊社への裏取りや具体的根拠なく、対立当事者の一方的とも思える主張を半ば鵜呑みにして報道されたことには、強い憤りを持っております。まずはご心配をおかけしている皆様に、弊社の考えを知っていただきたくHP上ではございますがご報告申し上げます。

以上。